



平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月1日

上場会社名 マブチモーター株式会社
コード番号 6592 URL <http://www.mabuchi-motor.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 亀井 慎二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 大越 博雄

TEL 047-710-1127

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	64,095	7.8	4,513	59.8	6,779	68.6	4,174	76.1
23年12月期第3四半期	59,478	△6.0	2,824	△48.9	4,021	△34.8	2,370	△45.9

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 4,991百万円 (—%) 23年12月期第3四半期 △1,335百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	119.14	—
23年12月期第3四半期	67.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	182,523	170,024	93.2
23年12月期	181,351	168,538	92.9

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 170,024百万円 23年12月期 168,538百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	50.00	—	50.00	100.00
24年12月期	—	50.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	9.0	5,700	85.9	8,100	64.4	5,700	—	162.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	39,875,881 株	23年12月期	39,875,881 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	4,839,880 株	23年12月期	4,839,419 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	35,036,217 株	23年12月期3Q	35,036,822 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づいております。業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(4) 追加情報	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
(第3四半期連結累計期間)	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
(第3四半期連結累計期間)	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8
(5) セグメント情報等	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年1月1日～平成24年9月30日）における世界経済は、全体に足踏み状態が続く中で、減速の兆しが顕在化していく状況で推移しました。

新興国経済はさらに成長が鈍化し、米国を除く先進国は依然として力強さに欠け、欧州の信用不安も継続しました。わが国経済も、円の高止まりなどの不安要因が依然解消されない状況にあり、先行きの不透明感が継続する状況でした。

こうした中、日本の部品業界では、新興国需要の縮小、欧州経済危機による景気低迷などの影響を受け、年末商戦向け最盛期の需要も伸び悩みました。

このような景況下、当社のモーター販売実績は、数量で前年同期比0.3%の減少、金額では7.8%の増加となりました。また、8月に修正いたしました当第3四半期連結累計期間販売計画に対しましては、数量で2.9%、金額で1.7%下回りました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は640億9千5百万円（前年同期比7.8%増）となり、その大半を占めるモーター売上高は639億9千4百万円（前年同期比7.8%増）となっております。

営業利益につきましては、前年までの材料費の高騰が落ち着いたこと、またプロダクトミックスも改善傾向であることから売上総利益率が改善するとともに、販売費及び一般管理費の抑制効果もあり45億1千3百万円（前年同期比59.8%増）となりました。経常利益は、為替差益を計上したことなどにより、営業外収支が改善し67億7千9百万円（前年同期比68.6%増）となりました。税金等調整前四半期純利益は、前年に海外子会社での固定資産売却益が計上されていたことや、当年において投資有価証券評価損・売却損が増加したことから、特別損益の収支が悪化し58億7千7百万円（前年同期比45.8%増）となりました。四半期純利益は、連結実効税率が低下したことで41億7千4百万円（前年同期比76.1%増）となりました。

次に、当社の主たる事業でありますモーター部門の市場別動向と販売状況についてご説明いたします。

① 自動車電装機器市場

当市場における売上高は364億5千万円（前年同期比21.1%増）と大幅に増加しました。主要用途であるミラー、ドアロック、エアコンダンパー用や、重点強化事業であるパワーウインドウ、パワーシート用を含むほぼ全ての用途で、自動車生産の伸長と当社のシェア拡大や搭載車の拡大が寄与して、好調に推移し増加しました。

② 音響・映像機器市場

当市場における売上高は68億5千8百万円（前年同期比7.0%減）と減少しました。DVDプレーヤー用の不振は、年末商戦向けでも回復せず減少しました。CD（カーCD）プレーヤー用は、自動車生産の伸長にそって増加し、ほぼ前年並みとなりました。

③ 光学・精密機器市場

当市場における売上高は88億9千3百万円（前年同期比6.7%減）と減少しました。インクジェットプリンター用は、振るわない先進国需要を新興国需要がカバーし前年並み、デジタルカメラ、PCドライブ用は、採算重視方針を継続したことから減少しました。

④ 家電機器・工具・玩具市場

当市場における売上高は117億9千1百万円（前年同期比4.8%減）と減少しました。シェーバー、ヘアードライヤー、歯ブラシ用は、年末商戦向けも不振が継続し減少しました。健康関連商品や電動工具用は、前年並みとなりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に対して11億7千2百万円増加し、1,825億2千3百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、現金及び預金の増加103億6百万円、受取手形及び売掛金の増加18億2千3百万円、有価証券の減少52億3千万円、投資有価証券の減少68億1千2百万円などであります。

負債合計は、前連結会計年度末に対して3億1千4百万円減少し、124億9千9百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、賞与引当金の増加3億6千7百万円、支払手形及び買掛金の減少2億2千6百万円、その他流動負債の減少6億1千9百万円などであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に対して14億8千6百万円増加し、1,700億2千4百万円となりました。利益剰余金が6億7千万円増加、為替換算調整勘定で1億7千4百万円評価損が減少、その他有価証券評価差額金で6億4千2百万円評価損が減少しております。

自己資本比率は93.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

自動車販売市場中心に景気が維持されてきましたが、欧州、新興国での販売減少が始まり、新興国経済の成長も、低下していくことが予想されます。一方、米国以外の先進国の景気は依然として安定感がなく、特に欧州における信用不安の悪影響は、各市場に顕在化してきました。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場は、先行きに懸念がみられるものの、予測どおりに推移するものと見ております。さらに、音響・映像機器市場、光学・精密機器市場、家電機器・工具・玩具市場につきましても、年末商戦向け需要は低調であり、予測通りに推移するものとみております。

このような経営環境下、第3四半期までの実績も踏まえ、年間の売上高は、前回公表の予想（平成24年8月8日公表）どおり860億円（前年同期比9.0%増）に据え置いており、利益面でも予想の変更はありません。

なお、期末の配当予想につきましても前回予想から変更はございません。

(注) 上記の業績予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいております。業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下のとおりであります。

- ・ 円ならびにアジア通貨の為替相場の変動
- ・ 当社の事業領域を取り巻く経済環境・需要動向等の変化
- ・ 新技術・新製品等の急速な技術革新
- ・ 銅や鉄などの原材料相場の変動

ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行なわれる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54,920	65,227
受取手形及び売掛金	11,977	13,801
有価証券	23,078	17,848
商品及び製品	12,762	12,829
仕掛品	886	1,057
原材料及び貯蔵品	4,958	4,837
未取還付法人税等	84	—
繰延税金資産	294	356
その他	3,909	2,995
貸倒引当金	△107	△126
流動資産合計	112,764	118,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,375	35,823
減価償却累計額	△22,214	△21,190
建物及び構築物（純額）	15,161	14,632
機械装置及び運搬具	25,511	23,803
減価償却累計額	△16,548	△14,200
機械装置及び運搬具（純額）	8,962	9,602
工具、器具及び備品	10,589	10,115
減価償却累計額	△8,861	△8,279
工具、器具及び備品（純額）	1,728	1,836
土地	6,020	6,020
建設仮勘定	2,357	3,906
有形固定資産合計	34,231	35,998
無形固定資産		
無形固定資産	661	649
投資その他の資産		
投資有価証券	32,644	25,831
長期貸付金	45	33
繰延税金資産	221	280
その他	820	936
貸倒引当金	△35	△33
投資その他の資産合計	33,694	27,048
固定資産合計	68,587	63,697
資産合計	181,351	182,523

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,854	3,627
未払法人税等	615	602
賞与引当金	226	593
役員賞与引当金	—	28
繰延税金負債	0	56
その他	5,087	4,468
流動負債合計	9,784	9,376
固定負債		
退職給付引当金	416	416
資産除去債務	15	15
繰延税金負債	1,382	1,472
その他	1,214	1,217
固定負債合計	3,029	3,122
負債合計	12,813	12,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,704	20,704
資本剰余金	20,419	20,419
利益剰余金	185,294	185,965
自己株式	△34,747	△34,748
株主資本合計	191,671	192,340
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,457	△814
為替換算調整勘定	△21,676	△21,501
その他の包括利益累計額合計	△23,133	△22,316
純資産合計	168,538	170,024
負債純資産合計	181,351	182,523

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	59,478	64,095
売上原価	44,812	47,747
売上総利益	14,666	16,347
販売費及び一般管理費	11,842	11,834
営業利益	2,824	4,513
営業外収益		
受取利息	436	404
受取配当金	67	64
為替差益	—	1,046
スクラップ材料売却収入	883	757
その他	465	177
営業外収益合計	1,852	2,451
営業外費用		
株式関係費	32	34
為替差損	505	—
その他	117	151
営業外費用合計	656	185
経常利益	4,021	6,779
特別利益		
固定資産処分益	477	3
投資有価証券売却益	10	—
特別利益合計	487	3
特別損失		
固定資産処分損	53	46
減損損失	85	—
臨時退職金	241	12
投資有価証券売却損	—	190
投資有価証券評価損	51	657
貸倒引当金繰入額	8	—
リース解約損	20	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16	—
特別損失合計	476	906
税金等調整前四半期純利益	4,032	5,877
法人税等	1,661	1,702
少数株主損益調整前四半期純利益	2,370	4,174
四半期純利益	2,370	4,174

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,370	4,174
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△224	642
為替換算調整勘定	△3,481	174
その他の包括利益合計	△3,706	817
四半期包括利益	△1,335	4,991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,335	4,991
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	7,224	37,183	5,701	9,369	59,478	—	59,478
セグメント間の内部売上高 又は振替高	33,032	33,617	—	—	66,650	(66,650)	—
計	40,256	70,801	5,701	9,369	126,129	(66,650)	59,478
セグメント利益又は損失(△)	△1,412	2,814	281	225	1,909	915	2,824

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額915百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントおよび「アジア」セグメントにおいて遊休状態となった事業用固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「日本」セグメントで20百万円、「アジア」セグメントで64百万円です。

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	7,762	39,103	6,552	10,676	64,095	—	64,095
セグメント間の内部売上高 又は振替高	40,918	41,686	—	—	82,604	(82,604)	—
計	48,680	80,790	6,552	10,676	146,700	(82,604)	64,095
セグメント利益又は損失(△)	△1,223	4,119	421	706	4,024	489	4,513

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額489百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。